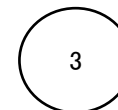


令和 6 年度 学校評価書 ( 計画段階 )

福岡県立 育徳館 高等学校



<p><b>スクール・ミッション</b> (本校の存在意義や社会的役割 目指すべき学校像)</p>	<p><b>国際社会の中で、新しい価値を創造し、地域及び世界の発展に貢献する次世代のリーダーを育成する中高一貫教育校</b> 県下随一の歴史と伝統を大切に、中高一貫した教育課程や学習環境のもと、教科の枠にとらわれない課題研究や海外研修旅行等を通して、高い学力や共感する心、広い視野を身に付けた人材を育成します。</p>	
<p><b>スクール・ポリシー</b> (三つの方針)</p>	<p>グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に関する方針)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・品位を備え、人としての良い行いができる人材の育成</li> <li>・確かな学力を身につけた人材の育成</li> <li>・志を高く保ち、挑戦を厭わない、心身ともに逞しい人材の育成</li> <li>・主体的・協働的に課題を発見し解決する人材の育成</li> </ul>
	<p>カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に関する方針)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題研究「育徳プラン」において、教科等横断的な学びを推進し、自己探求と自己実現を推進</li> <li>・数学と英語の習熟度に応じたクラス編成、少人数授業を実施</li> <li>・語学力を高め、異文化への理解を深める海外修学旅行</li> <li>・実用英語技能検定の全員受検</li> </ul>
	<p>アドミッション・ポリシー (入学者の受け入れに関する方針)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・魅力ある授業を通して、学力や才能を伸ばし、一つ上の希望進路を達成したい生徒</li> <li>・部活動、生徒会活動、ボランティア活動といった様々な活動の中で感性を育てたい生徒</li> <li>・中高合同の学校行事を通して、協働する力やリーダーシップを身に付けたい生徒</li> <li>・志を高く持ち、何事にも粘り強く挑戦しようとする生徒</li> </ul>

学校運営計画(4月)

学校運営方針	育徳館の歴史と伝統を礎にして、次世代を担う「徳」・「知」・「体」のバランスのとれた人材(次世代のリーダー)の育成に努める。		評価 (総合)
昨年度の成果と課題	年度重点目標	具体的目標	
<p><b>成果</b> ○観点別評価を推進し、ICTを活用した授業改善に取り組んだ。 ○個に応じた学習支援を行い、希望進路実現の一助となった。 ○生徒会と連携し、校則の見直しを実現できた。 ○家庭や関係機関と適切に連携し、生徒や家庭を支援できた。</p> <p><b>課題</b> ○ICTを活用した学びの深化とALの高立を図る必要がある。 ○6年間を見通し、生徒の発達段階に応じた具体的な進路指導を実現する必要がある。 ○生徒の主体性を育み、自立心のさらなる育成を図る必要がある。 ○学校ホームページを活用した情報の発信、広報活動をさらに進めていく必要がある。</p>	学問的な深まりのある授業を通して、生徒が主体的・協働的に課題を発見し、解決する力を身に付けさせる。	「育徳プラン」を活用して課題解決学習に取り組むとともに、英語検定試験受験を通して英語教育の充実を図る。	
	生徒会活動の活性化及び部活動への加入を奨励し、活力ある全人教育を行う。	運動部・文化部活動を奨励し、1学年における部活動加入率の前年度プラス5%を実現する。	
	人権意識の涵養と、生徒の人格を尊重した学校づくりを進める。	全ての教育活動において、共感する心の育成、多様性や他者の尊重、自己責任を重んじる態度を育てる。	
	本校が地域や保護者、生徒自身から求められているものを見極め、進路学習の体系化を確立し、進路実績を向上させる。	「育徳ビジョン」を活用し、自己の能力や適性理解を支援するとともに、効果的な情報提供と具体的な進路指導に取り組む。	
	自立性を育み、自尊感情・自己効力感を高める。	育徳生としての誇りを育むため、生徒・生徒会を主体とした全員参加の学校づくりを推進するとともに、地域での活動や他校生徒会と連携した活動を行う。	
	働きやすく、働きがいのある職場づくりを行う。	校務支援システムや自動採点システム等を活用し、授業改善や働き方改革を推進する。	

様式3

評価項目	具体的目標	具体的方策	生徒、保護者対象のアンケート (外部アンケート等)の項目等	生徒、保護者対象のアンケート (外部アンケート等)の結果等
教務部	指導と評価の一体化をし、生徒の学ぶ意欲を高め、生徒の学校生活満足度の向上を図る。 AL型授業を推進し、ICTを活用した授業を計画して運営する。 教育活動が効果的・効率的に実施できるよう年間行事の調整を図るとともに、業務の効率化を図る。	生徒の興味・関心を引き出す授業を通して生徒の思考力や自己肯定感を育む。	・授業アンケートの実施 ・学習時間調査の実施。	
		個人面談週間や生徒情報交換会等の内容を共有し、生徒理解に取り組む。		
		ALやICTに関する研修を充実させて公開授業等を実施する。 校内授業研修週間を設定し、職員相互の授業参観を研修に位置づけ実施する。		
		中高合同教科会議等を計画的に設定し、授業改善・工夫改善につなげていく。 業務をシェアし、機動的・機能的に働く組織作りや仕組み作りを行う。		
生徒指導部	生徒の主体性を育むと共に、いじめの未然防止・早期発見など積極的な生徒支援を行う。 安心・安全な環境を基盤に、生徒の美化意識の向上及び愛校心の醸成を図る。 人権教育や道徳教育を計画的に実施し、互いの人格を尊重する態度を育てる。	定期的な全校集会を活用して、主体的に発信できる生徒会役員を育成する。 職員間や関係機関等との連携を強化し、生徒支援体制を確立する。	・生活調査アンケート ・いじめに関するアンケート ・いじめ早期発見のための家庭用チェックシート	
		学期に1回の美化コンクールを実施する。 地域清掃活動等を通して学校や地域を愛する心情を育む。		
		人権教育に関する職員研修を通して、職員の指導力の向上を図る。 奨学金制度等の周知及び手続きの支援を行い、修学の保障を図る。		
		「学びの基礎診断」の認定ツール等外部業者との連携を図り、進路指導を充実させる。 中高6年間を見据えた、進路指導を計画・実施する。 課外授業等を適切に運用し、基礎学力の向上をはかる。		
進路指導部	希望進路の実現に向けた進路指導の充実と基礎学力の向上 「次世代のリーダー」としての資質向上に効果的なキャリア教育の推進	「キャリアパスポート・ポートフォリオ」を効果的に活用し、自己理解・社会理解を深めさせる。 県教委等主催の外部体験活動への参加奨励を更に推進する。 「英検」受験を活用し、国際理解・英語力向上を図る。	・外部業者の学力測定調査ツールなど。	
		生徒運営の体験入学や魅力的な学校説明会等を行い、効果的な生徒募集を行う。 ICTを活用した掲示物等やHPを充実させ、積極的なPR活動をしていく。 PTAや同窓会と連携し、教育活動を充実させ、積極的に発信する。		
		計画的な舎監業務を行うとともに、環境整備を図る。 優良図書を選定と図書館利用の促進から、読書活動の推進を図る。 芸術鑑賞など様々な文化活動を充実させ、情緒豊かな生徒を育む。		
		習熟度に応じた少人数分割授業(英語・数学)を行い、各層にとって「分かる授業」を展開する。 自分自身の学習活動に能動的に関わり、自らの学習を調整することができるように支援する。 各種講演会を行い、健全な勤労観や進路意識を育成する。		
育徳創造部	本校の魅力を発信する広報活動を積極的に推進し、PTAや同窓会との連携を図り、イメージアップを目指す。 安心・安全な寮生活ができるような寮運営を行い、豊かな感性を育む図書館教育や芸術文化活動を行う。	朝礼・終礼・学年行事を生徒主体で運営し、主体性を育成する。 挨拶の励行、場に応じた適切な礼法・礼儀の指導を行う。 「フォーサイト手帳」を活用し、学習習慣を定着させる。	授業アンケート、外部模試結果、定期調査結果、外部業者の測定調査ツール	
		学校行事において、生徒会を中心とした生徒主体の運営を支援する。 他者や周囲へ適切な配慮ができる互助精神を持った生徒を育成する。 海外修学旅行への取り組みを通して、国際社会で通用する英語力の基礎を身につけさせる。		
		習熟度に応じた学習指導を行い、主体的に学習しようとする意欲を喚起する。 フォーサイト手帳を適切に活用し、自己管理を促し、学習習慣を定着させる。 探究学習を通して、広い視野を持ち、意欲的に進路について考える態度を育成する。		
第1学年	全ての生徒について、基礎基本の定着と自己調整力の育成	生活アンケート、いじめに関するアンケート、外部業者の測定調査ツール	授業アンケート、外部模試結果、定期調査結果、外部業者の測定調査ツール	
	生徒主体の活動 基本的生活習慣の確立と挨拶・礼儀作法			
第2学年	育徳館のリーダーとしての自覚と行動を確立する。	生活アンケート、いじめに関するアンケート、修学旅行の振り返り(キャリアパスポート)	授業アンケート、外部模試結果、定期調査結果	
	基本的生活習慣及び学習習慣を確立させ、確かな学力を身につけさせる。			

様式3

第3学年	学力の完成および希望進路の実現	フォーサイト手帳を活用し、主体的な学習習慣の定着を図る。 個人面談や講演会等を通じ、適性に合った進路目標を早期に立てさせる。 習熟度に応じた学習指導を行い、基礎力の完成と応用力の充実を促す。	授業アンケート、外部模試の結果、定期 考査結果	
	最上級生にふさわしいモラル や礼儀の定着	学校行事において個々の役割を果たすように支援し、リーダーシップを発揮させる。 けじめある言葉遣いと自然に挨拶ができる環境づくりを行う。 学年集会やHRを通して、周囲に配慮できる思いやりの心を育成する。	学校生活アンケート、いじめに関するア ンケート、外部業者の測定調査ツール	
学校事務	生徒が安心安全に学校生活 を送れるように教育環境を整 備する	校内巡視を定期的に行い、施設・設備を適切に維持管理する。 現金取り扱いを削減しつつ、私費会計の適正な管理に努める。		